

がまだすばい

くまもと

大会速報 Vol.1

きょうされん第39回全国大会 in くまもと

2016年10月22日 発行

ようこそ。

熊本へ！



利用者実行委員長
あいさつ

熊本支部利用者部会「つばさ会」会長の長尾正一です！

4月14日と16日熊本で大きな地震が起きました。現在も余震があると「ビクッ」としてこわいです。

地震が起きた翌日には、たくさん物資やメッセージが届きました。街頭募金活動を行ってくれたり、ライブをして支援金を呼び掛けてくれたり、遠くタイでは国境をこえて熊本支援を訴えてくれたりと、多くの人達が「熊本がんばれ」とエールを送ってくれました。本当にありがとうございます。今回の大会を通して全国のみなさまに、「熊本はこんなに元気になりました。地震にも負けずに頑張っています」と恩返ししたいです！



僕はつばさ会の会長を今年で10年やらせてもらっています。今回の大会はこれまでの経験や活動の集大成

にしたいと思っています。

つばさ会を中心に、参加してもらった全国の仲間笑顔になってもらい、「熊本大会に参加して良かった」「勉強になった」「また、熊本にきたいな」と思ってもらえる様な大会にしたいです。

毎年、きょうされん全国大会では感動と元気をもらっています。参加して下さった方々に忘れられない思い出に残る、熊本らしい最高の全国大会にしたいと思っています。負けんばい、くまもと！

つばさ会会長 長尾正一

熊本支部長あいさつ

ようこそ！

今年で39回目のきょうされん全国大会。突然の熊本地震に、これまで続けてこられたのどうすればいいのか、随分悩み考えました。そんな中、全国各地から励ましのエールや支援の物資が届き、今だからこそ私たちにできる全国大会をすべきなのではないかと立ち上がりました。これまで、たくさん励ましやエール、ご支援を頂きまして本当にありがとうございます。

今年は、水俣病公式認定から60年、ライブ防法廃止から20年の節目の年です。4月14日・16日に震度7を越す熊本地震が起こり、それ以降4000回を越す地震に見舞われています。全国大会の始めに熊本地震のスライドを上映しますが、神戸で生まれた「しあわせはこべるように」と、熊本出身の小山薫堂氏の作ら

れた「ふるさと」をバックミュージックとして使わせていただきました。まだまだ、修復や復興には時間もかかり

ます。地震で傷ついた人も建物なども数知れません。その為だけではありませんが、リアフリーではない施設も多く、ご迷惑をおかけすることも多々あるかと思えます。それでも、全国大会を熊本で開催することで、障害者権利条約が熊本の文化になっていく大会にしたいと思っています。

たくさんの方々のご支援を受け今日の日を迎えることができましたことに心から感謝しつつ、2日間の大会が、お一人おひとりにとって、充実した学びのときでありますように心からお祈りしています。



熊本支部長 山下順子

困ったら赤いTシャツのスタッフまで！

「会場の場所がわからない」「誰かとはぐれてしまった」など、困った事や大会に関して解らない事があれば赤いTシャツを着た大会スタッフまでお声がけください。



このサイズで、驚く生産性。

ORPHIS FW

SPEED 120枚/分 COST フルカラー ¥152/枚 モノクロ ¥0.41/枚

※1: A4普通紙片面標準印刷、標準設定、標準印刷、FWフェイスダウン機能トイ使用時、※2: A4普通紙両面、B4/FWインク使用時、カラーは規定電圧にISO/IEC24711に定める条件を使用し、ISO/IEC24711に準拠した測定方法によって算出、モノクロは規定電圧にISO/IEC24711に準拠した測定方法によって算出、用紙別。

理想科学工業株式会社 理想熊本支店 〒862-0956 熊本市中央区水前寺公園14-22 パークビル TEL:096-385-3131 FAX:096-382-6398

www.riso.co.jp



この用紙はユニオンサービス様より、ご提供いただきました。

熊本地震の記憶



くまもと

がまだすばい

○前震・本震発生時の様子

◆発生時刻は4月14日の夜と4月16日の未明だが、その間わずか28時間、つまり2夜連続で被災した。

◆夜に余震が来ると怖い。回数も多いため、家が大丈夫でも車中泊する人が多かったのが今回の地震の特徴。

◆きょうされん加盟事業所は益城町周辺に4か所（そよかぜ福祉作業所・みふねデコボコ会・上益城きぼうの家、エントリーかしま）、西原村を含む阿蘇・南阿蘇に4か所（西原たんぼぼハウス・はらっぱの家・高森寮・阿蘇きぼうの家）、熊本市に13か所ある。

○被災直後の様子

◆職員は仲間全員の安否確認を行う。避難所での過ごし方も確認し、支援が必要な方に対応するために動いていた。

◆会員事業所のなかにはグループホームが大きく損壊したため、入居者が他のグループホームへ避難した事例もあった。

◆近くの会社法人が運営しているグループホームの入居者を引き受けながら、30名

40名程度の仲間や職員で2週間ほど寝食を共にしていた事業所もあった。

◆4月17日には九州各県から支援物資が届き、指定避難所、指定されていない避難所や公民館、避難所に行けていない方たちへの物資提供を始めた。

◆熊本市に登録されていた福祉避難所は140か所、1,700名分あったが、機能したのは5か所だけだった。

◆熊本学園大学は避難所に指定されていなかったが、地域から約700名が避難してきた。そのうち50名は障害のある人だった。また高齢者も多くいたため、1階のバリアフリーなスペースを福祉避難所として対応した。介助に当たる人材も卒業生を募った。

○ゴールデンウィーク頃

◆支援物資を提供しながら、仲間が避難所から家に戻る準備のためボランティアを募り、九州中から多くの方に支援に来てもらった。（年老いた親と同居で力仕事ができない・片づけの手順が分からない・被災時と同じ風景なので怖くて一人で部屋に入れない等）

○ゴールデンウィーク以降

◆行政から障害者手帳所持者で身体障害1・2級、知的障害A1・A2、精神障害1・2級の方（避難行動要援護者名簿・約2万人）から①65歳未満②障害福祉サービス受給者証を持っていない、という条件に該当する方の名簿（約9千人）を受け、NSK（日本相談支援専門員協会）が熊本市東区から安否確認のための訪問調査を始めたが、マンパワー不足のためJDF（日本障害フオーラム）も調査に協力することになった。しかし、

会える確率は約50%にとどまり、さらに私たちが心配していた避難行動要援護者名簿にない方たち（熊本市の障害者手帳所持者は約4万2千人）への支援について熊本市と協議を続け、被災地障害者センターくまもと・JDF熊本支援センターと熊本市の委託相談支援センターのチラシを手帳所持者全戸に郵送し、被災者からのSOSを待った。

○その後

◆普段から社会とのつながりが弱く、生活困窮に陥っている人たちが最後まで避難所にいることになる。その人たちの暮らしにくさや、平時には見えにくかった生活の格差が今回の震災で可視化・顕在化されたのではない。

◆自宅近くの避難所（主に小学校等）の建物がバリアフリーではなく、福祉的な支援が受けられなかった。福祉避難所も非公開であったため避難所をあきらめて車中泊する障害のある人とその家族も多かった。生活圏内に安心して避難できる場所が必要のため、一般の避難所でも建物の構造も含めて福祉的な対応ができるようにしておく必要性を感じた。

◆高い専門的な対応が必要な方、手厚い支援が必要な重度の方たちのために福祉避難所は不可欠なので、緊急時に機能するよう整備しておく必要がある。

◆被災地障害者センターくまもとへのSOS電話は一時期、一日に70件・80件かかるなど、災害時における障害者支援のありかたについて今後の制度設計にも影響する取り組みになった。

○最後に

現在は一見すると元通りの生活が営まれているようだが、企業も建物の損壊や在庫の損失などありながら、本震後少なくとも2週間は営業できなかったため、本来得られる収入がなかった。罹災証明書があれば銀行など低金利でお金を貸してくれるが、当然返済もあるため、熊本の経済には深刻なダメージが残る。

多くの作業所も年度初めから日払いの訓練等給付費の問題や仲間の工賃確保で経営にダメージを負った。そして、いまだ余震が続くなか被災した仲間たちや子どもたちの心への影響も気がりである。

きょうされん熊本支部 副支部長 篠原 憲一

きょうされん

第三九回全国大会 in くまもと

イメージソング

「翼が生えた日」

作詞／濱田 龍郎
曲・歌／樋口 了一

一人ぼっちの寂しさはまるで昨日の夢のように

あなたに逢ったあの日から

私に翼が生えました 一人泣いてた事なんて

まるで昨日の雨のように

あなたに逢ったあの日から私に勇気が湧いてきた

そうさ一人じゃないよ ほらもう一人じゃないさ

☆ゆうき出して 元気出して 大空高く

ゆうき出して 元気出して あの空へ さあ

飛び立つんだ 希望の明日（あす）へ☆

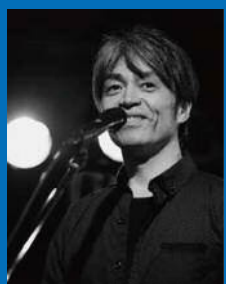
一人歌った恨み歌 今は遠くの空の果て

あなたに逢ったあの日から

私に希望が溢れてる

そうさ一人じゃないよ ほらもう一人じゃないさ

☆繰り返し☆



お詫び

大会資料集の袋に入っている分科会会場案内図に一部誤りがありました。

第8分科会『意思決定とその支援』の会場

(誤) 4号館 431号室

(正) 14号館 1412号室